

事業名

在住外国人の
活躍促進事業

「外国にルーツを持つ子供の 就学・進学支援のための学習サポート事業」

取組内容

外国にルーツをもつ子どもたちの**学習サポート事業**として、学齢を超えて来日した外国にルーツをもつ子どもたちや、来日して間もないため日本語初期指導を必要とする子どもたちに対し、**日本語や教科の学習や高校進学支援**を行う「たぶんかフリースクール」荒川本校・杉並校を設置し、学習・進路指導を行った。また、8月には学齢期の中学校に在籍中の生徒も受け入れた。

9月以降は、クラス担任制をとり学習や進路支援を行った。

◆令和4年度のプログラム

火～金 10:00～15:30、1日5時間×週4日、週20時間の授業を行った。

◆在籍生徒の属性

15カ国・地域の出身者および外国にルーツを持つ日本籍生徒が在籍した。

◆ **事業期間** 令和4年4月1日～令和5年3月31日

◆ **参加人数** 72名



荒川本校 授業の様子



杉並校 授業の様子

効果

- たぶんかフリースクールでは、年間で荒川本校43名、杉並校29名、合計72名(夏期講座のみ参加の中学生21名含む)の生徒が学んだ。高校受験をした生徒は40名で、**全員が高校進学**を果たした。
- また、中学校に在籍中の生徒で、学校に通うことが難しくなっている生徒3名を受け入れ、中学校への**復学や高校進学に繋げた**。
- 9月以降の担任制実施により、進路について、**きめ細かい支援**ができた。

事業を振り返って 代表理事 栞木典子さん



【行事】オンライン交流イベント

たぶんかフリースクールに在籍する生徒の多くを高校へ進学させ、また同校に通う中学生についても在籍校への復学につなげることができたケースがありました。

令和4年度は、入国制限が緩和されたことで入室生が増加したため、生徒の状況に合わせたプログラムの編成が必要でした。

また、外国にルーツを持つ児童生徒で不登校になるケースについても多くの相談が寄せられているため、こうした子どもたちの居場所づくりや専門家による教育相談の場の提供も課題です。